

# 世界銀行東京事務所ニュースレター

2022年（令和4年）4月号



WorldBankTokyo



@worldbanktokyo

## 最近の動き

### IDA20（アイダ：国際開発協会第20次増資）

IDA20 増資法は、衆参両院とも全会一致で可決されました。IDA は、アフリカ・アジアなどの最貧国 74 か国を支援する世界銀行グループの機関で、西尾副総裁が今回の増資交渉をリードしました。各方面より賜りましたご支援に対し、厚くお礼を申し上げます。



### ウクライナ支援パッケージ

世界銀行はウクライナ向けに 30 億ドルの支援パッケージを組成する方針で、これまでに 9 億ドル超（世界銀行 5.4 億ドル・日本など各国の協調支援 3.8 億ドル）の資金が確保されました。



### 世界水フォーラム@セネガル・ダカール

マルパス総裁とディオップ IFC 長官はセネガルを訪問し、第 9 回世界水フォーラムに参加しました。この機会を捉え、マルパス総裁は、セネガル・サル大統領と連名で、「世界の水不足解消に向け、積極的な対応を」と題する寄稿を行いました。



### フォーグレ副総裁（担当：防災・気候変動など）寄稿

3月11日、ユルゲン・フォーグレ副総裁は、東日本大震災の犠牲者に哀悼の意を表すると共に、日本との関係強化を表明しました。また、国際開発ジャーナル 4月号には、同副総裁名による寄稿（コロナ危機からの持続的な回復には強靱性の構築が重要）と合わせ、東京防災ハブに関する記事が掲載されました。



### 日本・世界銀行共同大学院奨学金：日本人向け特別枠

日本・世界銀行共同大学院奨学金制度（JJ/WBGSP）では、業務経験を有するミッドキャリアの日本人向け特別枠を設け、開発分野の奨学金（2年：修士又は博士課程）を提供しています。今回の募集枠の締め切りは、4月8日正午（ワシントン時間）です（詳細は右のQRコードからご確認下さい）。



## セミナー紹介

### 「投資紛争解決国際センター（ICSID）の役割と機能」（3/25）

世界銀行グループを構成する機関の一つである ICSID（イクシッド）では、日本政府の支援を受け、法務担当官（勤務地：ワシントン）を募集中です。これに合わせて開催した今回のオンラインセミナーでは、ICSID トップを務めるメグ・キニア事務局長より、ICSID の役割と機能を紹介しました。



## GEF（ジェフ）と連携した野生動物保護債（WCB）の発行

### 絶滅に瀕する野生動物の保護を図る世界初の債券を発行

3月23日、世界銀行は、絶滅に瀕する野生動物の保護を図る世界初の債券（野生動物保護債：Wildlife Conservation Bond）を発行しました。この債券のポイントは、①利払いを行わない代わりに、コロナで観光収入が減少した南アフリカの国立公園への支援に振り向け、黒サイ保護の充実などを行うこと、②債券を購入した投資家には、5年後の満期日に、GEF（ジェフ：地球環境ファシリティ）の負担で、黒サイの増加率に連動した成果報酬（＝額面金額に対して0%～9.17%（0.1億ドル））の支払いがあることです。なお、債券発行で得られた資金（1.5億ドル）は、様々な国におけるグリーン又は社会分野のプロジェクトを実施するための原資として、プロジェクトを実施する各国政府に貸し出されます。



## 東京開発ラーニングセンター（TDLC）の動き

### J-WAVE「ACROSS THE SKY」に出演（3/27）

TDLCの三木はる香業務担当官は、ラジオJ-WAVEのACROSS THE SKY・meeth WORLD CONNECTIONに出演し、世界銀行グループと日本のパートナーシップ、TDLCの活動などを紹介しました。



### 対話型研修：低炭素・気候変動対応型都市（3/14-18）

世界銀行グループは、気候変動分野の支援を積極的に行っています。途上国政府の実務者を招いて開催した今回の研修では、日本の環境省からも参加も得た上で、低炭素で持続可能な都市開発の計画・資金調達の在り方などについて、活発な議論が行われました。

## 東京防災ハブ（DRM Hub）の動き

### 環境に優しく包括的で強靱な学校インフラへの道（3/17）

東京防災ハブは、日本の知見を活用しつつ、世界銀行グループにおける防災の取り組みを支援しており、特に、世界銀行が運営する防災グローバルファシリティ（GFDRR）と緊密に協働しています。今回、GFDRRでは、世銀職員の防災分野における知見を高めることを狙いとして、東京防災ハブの支援で形作られてきた「災害に強い学校づくりプログラム（GPSS：Global Program for Safer Schools）」に焦点を当てた内部研修を実施しました。



## 東京防災ハブ職員紹介

### ニコラス・ジョーンズ



2011年に世界銀行に入行。ブリュッセル、ニューヨーク、ワシントンの各事務所で勤務し、カリブ海、大洋州、アフリカの各地域向けの技術協力と貸出業務を担当。2021年、東京防災ハブのデータ・サイエンティストとして着任。世界銀行入行前は、英コンサルティング企業オックスフォード・アナリティカの南・東南アジア担当主任アナリスト。